

（四国地方整備局からのメッセージ）

◆◆◆四国地方整備局トピック 2016. 10. 12◆◆◆

災害への備え

企画部長の畠中です。

今年は台風1号の発生が7月3日と過去2番目に遅く、台風は少ないのではないかと思っていました。結果的には日本に上陸する台風は例年に比べかなり多く、台風16号で観測史上2位である6つ目の上陸となりました。

台風16号により、四万十川支川の中筋川の流域をはじめとして、各地で激しい豪雨に見舞われ、一部では降り始めからの総雨量が400mmを超えて内水による浸水被害や道路の通行止めが発生しました。しかし、中筋川では、これまでの治水事業により堤防が概成するとともに中筋川ダムが完成しており、計画高水位を超過したものの、川があふれること（越水）による浸水被害を防ぐことができました。

さらには4月の熊本地震では多くの人命が失われるとともに、住宅等の建築物や道路・鉄道等交通施設の被害、大規模な土砂災害など、大きな被害をもたらしました。いまだに300名を超える被災者の方が避難所での生活を余儀なくされています（平成28年10月3日現在）。

熊本地震や台風10号による被害に対して、整備局からは緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣を行いました。台風などの災害でも、要請をいただければ、排水ポンプ車の派遣などの支援を行います。

このような大規模な災害に対しての備えに役立てていただくために四国地方整備局が開催する行事を紹介します。

津波防災の日である11月5日に、高知市で大規模津波防災総合訓練を開催します。大規模津波来襲に備えた避難誘導や住民等の避難の訓練、救助・救出や救命・救急訓練、道路・航路啓開、浸水対策、物資輸送等の訓練を行います。当日は国連総会で制定された「世界津波の日」でもあり、留学生など外国人の方にも訓練参加をいただく予定です。

来年1月17日には、四国防災トップセミナーを開催します。東京大学地震研究所・地震予知研究センター長で政府の地震調査研究推進本部・地震調査委員会委員長の平田直教授と、東日本大震災で早期のがれき処理や復興まちづくり計画の策定に尽力された宮城県東松島市の阿部秀保市長にご講演をいただきます。ぜひ直接ご講演を聞いていただきたいと思ひます。

四国地方整備局

企画部長 畠中 秀人

■平成28年度 四国企業防災戦略トップセミナー

【企画部 広域計画課】

大規模災害からの復旧・復興に向けて
～企業の業務継続が地域の復旧・復興に繋がる～

- 開催日時 平成28年8月31日（水） 14:30～17:15
- 場所 高松シンボルタワー かがわ国際会議場
- 出席者 企業関係者 69社 130名
行政関係者 72名 計202名
- 主催 経済産業省 四国経済産業局 国土交通省 四国地方整備局

四国には、本社や工場を四国に持ち、海外や国内の特定分野においてトップシェアや世界レベルの特殊な技術を持つ企業が100社を超えるなど、全国に誇れるオンリーワン企業が多く存在します。一方で、これらの企業が、南海トラフ巨大地震などの大規模災害により被災した場合には、四国はもとより日本経済・世界経済へ多大な影響を及ぼすことが懸念されます。

本セミナーは、東日本大震災により大きな被害を受けながらも、早期に立ち直った企業よりご講演頂き、意見交換を通じて企業の大規模災害への備えを充実して頂くことを目的に、平成26年度より開催しており、今回で3回目の開催となります。

今回は、「麒麟ビール（株）」と「鈴木工業（株）」の2社よりご講演頂きました。

本セミナーでは、それぞれの基調講演で活発な意見交換が行われ、防災・減災対策への意識の高さを実感したセミナーとなりました。ご多忙の中ご講演いただきました麒麟ビール（株）の吉田様、鈴木工業（株）の鈴木様、ご参加いただいた皆様に大変感謝いたします。

■フラップゲート式陸閘 受賞記念講演会を開催しました
～ 土木学会技術開発賞、国土技術開発賞、日本港湾協会技術賞を受賞 ～

【高松港湾空港技術調査事務所】

四国地方整備局も開発に携わり、撫養港海岸（徳島県鳴門市）に設置した「フラップゲート式陸閘」が、平成27年度土木学会技術開発賞などを受賞しました。これを記念して、技術者をはじめ広く皆さまに、この陸閘のことを知っていただき、その普及によって、安全・安心な社会の発展に資することを目的として、「フラップゲート式陸閘受賞記念講演会」（主催：四国地方整備局、共催：土木学会四国支部）を開催しました。

本講演会は、国土強靱化関連のイベントとも位置づけ、フラップゲートの開発経緯、水理特性、フラップゲート式陸閘の今後の可能性などの講演をいただくとともに、施工や受注事例、技術マニュアルについて報告しました。

早稲田大学理工学術院 清宮 理 教授による「高潮・津波用防災水門とフラップゲート」の講演では、水門・陸閘の構造形式や諸外国での高潮対策にふれたうえで、フラップゲートの研究開発について、水門・海中設置の研究から陸閘の開発への経緯や研究内容が紹介され、官学民の協力で開発が進められてきたこと、無動力・無人化が可能となるフラップゲートの特徴が述べられました。

続いて、(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 下迫 健一郎 特別研究主幹による「フラップ式構造物の水理特性」の講演では、陸上設置型フラップゲートの模型実験結果をふまえ、「扉体下部に水が入って浮力が働けば浮上することから、前面開口部が閉塞されないよう維持管理することが重要」、「研究の原点である、海底設置型の実用化にむけて研究を進めていく」と強調されました。

最後に、京都大学防災研究所 間瀬 肇 教授による「フラップゲート式陸閘技術の今後の展開」の講演では、壁面設置型や長径間フラップゲート式防潮堤、高さのあるフラップゲートなど応用技術が紹介され、今後の展開として、「津波だけでなく、高潮や集中豪雨などによる浸水被害が発生している外国へ技術をひろめていく」ことが述べられました。

各分野からの報告では、小松島港湾・空港整備事務所より、撫養港海岸におけるフラップゲート式陸閘の採用から施工までの一連の経緯を報告しました。

今回の講演会には、港湾・空港に携わる技術者や行政関係者、学生をはじめ、約130名もの参加をいただき、新たな技術への関心の高さを感じることができました。また、若手職員も参加し「フラップゲート式陸閘の15年間の開発経緯を知ることができ、非常に勉強になる講演会でした」との感想が寄せられるなど、若手職員の技術力向上にもつながる講演会となりました。

■松山空港「空の日フェスタ」に参加

【松山港湾・空港整備事務所】

9月10日(土)、松山空港において「空の日」のイベント、「2016松山空港 空の日フェスタ」が開催されました。空港関係機関や企業等により、「空港で働く車(GSE)の展示」や「蛇口からポンジュース」を含むイベントが企画され、松山港湾・空港整備事務所からも松山空港の模型やパネルの展示、模型飛行機による風洞実験装置を出展しました。

風洞実験装置では、飛行機が浮かび上がる仕組みに来場した子どもたちは不思議そうに目を輝かせて見ていました。また、松山空港を2,500分の1に縮小した模型には、空からしか見ることができない松山空港の周辺を模型で体験でき、沢山の方に興味を持っていただけました。

また、パネルを用いて当事務所が実施している空港整備事業を紹介し、事業をPRする良い機会となりました。

■吊り橋の維持管理のポイントに関する勉強会の開催について

【土佐国道事務所】

土佐国道事務所では、修繕代行業を進めている大渡ダム大橋（吊り橋）の「現場見学会」と「吊り橋の維持管理のポイントに関する勉強会」を開催しました。

吊り橋に関する勉強会については、四国内の吊り橋を管理する自治体からの要望もあり、当日は1県4市4町の自治体職員を含む約70名の参加がありました。

現場見学会では、田島副所長より修繕代行業の概要説明の後、参加者の皆さんにはケーブルバンドの開放調査状況等を近接目視にて確認して頂きました。

また、「吊り橋の維持管理のポイントに関する勉強会」では、国土技術政策総合研究所の玉越橋梁研究室長（当時）を講師にお招きし、吊り橋の維持管理のポイントについて全国各地での損傷事例などを基に分かりやすく講義して頂きました。参加者からは、吊り橋に関する維持管理の講義を聴ける機会が少なく、大変勉強になったと好評でした。

■平成28年度 大規模津波防災総合訓練について

【企画部 防災課】

11月5日は「世界津波の日」であり、「世界津波の日」制定後、初の大規模津波防災総合訓練を実施する予定です。

- 開催日時 平成28年11月5日（土）9:00～12:00
- 場所 メイン会場：高知県高知市仁井田（高知新港）
サテライト会場：高知県高知市種崎（種崎公園）
- 主催 国土交通省、高知県、高知市
- 参加機関 国、地方公共団体等93機関

大規模津波防災総合訓練は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震を契機として毎年実施（今年度で11回目）しており、今回は、南海トラフ巨大地震を想定し、大規模津波来襲に備えた住民等の避難訓練、救助訓練、TEC-FORCEによる道路・航路啓開や緊急排水訓練等を行います。

今回の訓練では、世界中で津波の脅威について関心が高まり、その対策が進むことが期待されるため、第70回国連総会本会議（平成27年12月22日）において11月5日を「世界津波の日」が制定されたことを踏まえ、留学生をはじめ外国人の皆様への津波避難訓練への参加、「世界津波の日」に関する広報展示、「世界津波の日高校生サミット」参加者からの決意表明などを行います。

○展示エリアでは

災害時に役立つ情報や車両の展示など、約30団体のブースが並び、子供から大人までが楽しめる内容のものがああります。

＜展示例＞

- ・「世界津波の日」広報【外務省】
- ・災害対策用機械【国土交通省四国地方整備局】
- ・地震体験車
- ・降雨体験車【国土交通省四国地方整備局】
- ・土石流3Dシアター【国土交通省四国地方整備局】
- ・防災・減災に役立つ地理空間情報【国土地理院四国地方測量部】
- ・高知県周辺のデジタル標高地形図【国土地理院四国地方測量部】
- ・移動電源車、移動通信機器【総務省四国総合通信局】
- ・津波堆積物の展示【四国地質調査協会高知支部】
- ・防災教育に関する展示（手づくり防災マップ、動画）【四国地質調査協会高知支部】

■建設フェア四国2016 in 高知

【企画部 企画課】

四国建設広報協議会では、10月14、15日に『建設フェア四国2016 in 高知』を開催します。

当フェアでは、土木・建設に関する新技術などの展示を約100の企業や団体が行う予定です。また、ご家族で楽しむことができる高専土木女子による「どぼじょ工作教室」や塗り壁や泥団子作りなどの体験できる「左官体験コーナー」、土石流3Dシアターや降雨体験装置の「災害疑似体験コーナー」など各種イベントをご用意しています。15日は、『こうち防災フェスタ2016』も同時開催、様々な防災体験イベントやご当地グルメ等の飲食ブースもご用意しています。

第2会場：新技術発表会（サンピアシリーズにて）

第3会場：みなとウォッチング（高知港湾・空港整備事務所にて）【要事前予約】

日時：10月14日（金）午前9時半～16時

10月15日（土）午前10時～16時

場所：高知ちばさんセンター

参加費無料、無料駐車場有、会場までの無料シャトルバスを準備しております。

問い合わせ先：四国建設広報協議会事務局（四国地方整備局 企画部 企画課内）

電話：087-811-8308

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/shikokukensetsu/fair.html>

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

*****「いきいき四国通信」事務局*****

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までFAXまたはメールにてご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部

【担当】新名、篠崎